



3月に市内で行われたイベントなどについてお知らせします

日光牡蠣まつり

3月8日(金)～25日(月)、日光牡蠣まつりが開催されました。ニコニコ本陣多目的広場に設置した専用テント内で、牡蠣、ホタテ、えびを蒸し焼きで食べられるセットメニューの他、牡蠣フライやかに、いくら、ホタテがのった海鮮丼、えび入り海鮮みそ汁など、産地直送の海の幸をたっぷり味わうことができました。また、お土産品として牡蠣のつくだ煮、牡蠣のオリーブオイル漬け、いかの塩辛などの販売もありました。



家族みんなでおいしい笑顔(^o^)

日光国際音楽祭声楽コンクール

3月9日(土)、日光総合会館大ホールで第4回日光国際音楽祭声楽コンクールが開催されました。

当日は、厳しい予選審査を通過し、全国から集まった32名の声楽家が日頃の練習の成果を披露。審査の結果、東京都の前川健生さんが大賞に輝きました。
日光観光大使の下司愉宇起実行委員長は「今回もレベルの高いコ

ンクールになりました。日光の名を冠したこのコンクールが、若手声楽家の登竜門として認知され始めており、うれしく思います」と話してくれました。

7月27日(土)には、田母沢御用邸記念公園研修ホールで、第3回・第4回日光国際音楽祭声楽コンクールの入賞者によるコンサートが開催される予定です。



美しい歌声を披露した参加者たち

愛され続けるお店の作り方

3月19日(火)、トークイベント「愛され続けるお店の作り方」が市役所で開催されました。

32名の参加者は、ゲストの相場正一郎氏(イタリアンレストラン「LIFE」オーナーシェフ)の起業や経営についての経験談やアドバイスなどを、熱心に聞き入っていました。



ゲストのオーナーシェフ相場氏



五十嵐匠監督(右)と演者の皆さん



会場が一つになって映画を応援!

映画「二宮金次郎」試写会

3月10日(日)、今市文化会館で映画「二宮金次郎」が3回にわたり上映され、2,400人を超える来場者がありました。映画は金次郎の青年期をメインに報徳思想で復興を進める姿が描かれ、俳優らの迫真の演技で見応えのある感動作品です。五十嵐匠監督は、「今でも二宮堀が存在しているように、尊徳の教えを大切にしている人が

大勢いる。金次郎の仕方は、大胆さと繊細さが共存し、経済と道徳が一体となって復興させてきた。今の日本にこそ、「六分度」と「推譲」が必要。この映画が100年先も残るよう渾身を込めて作り出した」と熱く語りました。

今後の上映については専用ホームページ(<https://ninomiya-kinji-ou.com>)を参照ください。



NIKKO すごく ドリームシティ



大きなさいころを投げて市内一周

3月30日(土)、ニコニコ本陣多目的ホールで「NIKKO すごくドリームシティ～たのしくあそんでまちづくり」が開催されました。4月7日(日)の県議会議員選挙を前に、子どもとその保護者に遊びながら日光市と政治のことを身近に感じてもらおうと日光青年会議所が企画。

参加した小学生250名とその保護者は、市長となって手持ちの予算を増やすことを目的に、ホールの床一面に設置された市の地図をさいころを振って移動。最終的な成績によって景品が贈られました。

家族で参加した、れなさん(4月から中学生)は「日光市のことが勉強できました。お金だけではなく、幸福度を増やすことが大切だということが、おもしろかったです」と話してくれました。



自分がコマになり地図を移動



新たにミスきぬがわに選ばれた渡辺りかさん(左)、田村愛さん(右)



盛り上がったモアモカのライブ

3月23日(土)、鬼怒川温泉駅前広場で「東武鉄道むすめ&SL大樹スプリングフェスタ」が開催されました。イベントは、市内の名産品や鉄道関連グッズの販売をはじめ、SL大樹の機関士をイメージした鉄道むすめの新キャラクター「大桑じゅり」の発表、日光観光大使「モアモカ」のライブなどが行われ、

終日大勢の人でにぎわいました。また、第5期ミスきぬがわの発表があり、選ばれた田村愛さん、渡辺りかさんの2人は「日光・鬼怒川の素晴らしさを伝えていきたい。皆さんに夢を与える存在になりたい」と意気込みを話していました。SL大樹到着の際は歴代ミスきぬがわが勢ぞろいし、乗客を出迎えました。

鉄道むすめ&SL大樹スプリングフェスタ

5月の新



国内外から100名以上の選手が参加し、白熱のレースを展開

3月22日(金)～24日(日)、県内を走破する国際サイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ」が開催されました。24日のレースは那須烏山市をスタートし、足利市をゴールとする150kmのコースで、日光市内も選手たちが通過。JR下野大沢駅前では、日光街道杉並木太鼓会が威勢のいい太鼓演奏で選手を激励しました。

ツール・ド・とちぎ



80名が投票し、見事「天然氷のかき氷」が当選を果たしました!

3月30日(土)・31日(日)、県議選の日光市役所期日前投票所の隣で「こども選挙」が行われました。これは、「家族と一緒に投票所に来て、お子さんも投票の雰囲気を感じてほしい」と市選挙管理委員会が企画。子どもたちは、少し緊張した面持ちで投票用紙を受け取り、そばや湯波など「日光を代表する食べ物」に投票しました。

こども模擬投票所